

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 4 月 1 8 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 1 1 4 9 1 2
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 1 1 4 9 1 2]

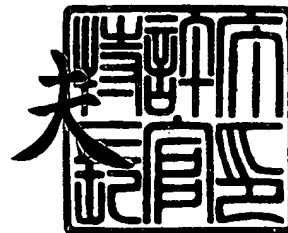
願 人 花 王 株 式 会 社
Applicant(s):

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2 0 0 4 年 4 月 1 9 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出 証 番 号 出 証 特 2 0 0 4 - 3 0 3 3 1 1 6

【書類名】 特許願

【整理番号】 P03-276

【提出日】 平成15年 4月18日

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【国際特許分類】 B65D 33/30

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内

 【氏名】 滝田 雅則

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内

 【氏名】 八嶋 浩

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内

 【氏名】 藤田 実智昭

【特許出願人】

 【識別番号】 000000918

 【氏名又は名称】 花王株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100076532

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 羽鳥 修

【選任した代理人】

 【識別番号】 100101292

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 松嶋 善之

【選任した代理人】

 【識別番号】 100107205

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 前田 秀一

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013398

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9902363

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ガセット袋

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 前後一对の正面部と、これらの正面部の内側に V 字状に折り込み可能な左右一对の側面折り込み部とを備え、自立させた状態で上端取出し口を開口しつつ収容物を取り出せるようにしたガセット袋であって、

前記正面部と前記側面折り込み部とが接続する 4 箇所の立辺に沿って、塑性変形可能な縦方向線状部材が取出し口部から胴部にかけて各々取り付けられているガセット袋。

【請求項 2】 前記縦方向線状部材は前記立辺に沿って前記側面折り込み部に取り付けられており、且つ該側面折り込み部に取り付けられた各一对の縦方向線状部材は、その上端部において各側面折り込み部に沿って取り付けられた塑性変形可能な横方向線状部材を介して連結されて、該横方向線状部材と共にコの字形状を形成している請求項 1 記載のガセット袋。

【請求項 3】 前記縦方向線状部材は、前記胴部の底部分まで延設して設けられている請求項 1 又は 2 に記載のガセット袋。

【請求項 4】 前記 4 箇所の立辺に折返しシール部が形成されており、前記縦方向線状部材は、該折返しシール部又はこれに近接して、接着テープ又は接着剤を介して、或いは溶着によって取り付けられている請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のガセット袋。

【請求項 5】 前記 4 箇所の立辺に折返しシール部が形成されており、前記縦方向線状部材は、該折返しシール部の接合内部に配置されている請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のガセット袋。

【請求項 6】 アルミ箔層を含む多層シートによって形成される請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載のガセット袋。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ガセット袋に関し、特に前後一对の正面部と、これらの正面部の内

側にV字状に折り込み可能な左右一对の側面折り込み部とを備え、自立させた状態で上端取出し口を開口しつつ収容物を取り出せるようにしたガセット袋に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

ガセット袋は、一枚又は複数枚のシート材料から形成される、前後一对の正面部と、これらの正面部の内側にV字状に折り込み可能な左右一对の側面折り込み部とを備える袋であって、側面折り込み部を折り込んで平坦に折り畳まれている状態から、開口部付近の折り込み部分を開いて矩形形状の上端開口を形成し、この上端開口から内部に種々の収容物を収容できるようになっている。

【0 0 0 3】

また、このようなガセット袋は、上端開口から収容された収容物が不用意に露出しないようにすると共に、収容された収容物を再び取り出すことができるように、例えば開口部付近の正面部に折れ癖線を設けて上端部分を折り返させるようにしたり、一方の正面部の上端にカバー片を接続配置して当該カバー片に係止紐を設け、この係止紐を他方の正面部の開口部付近に設けた巻付け係止片に巻き付けて、上端開口を閉塞させるような工夫がなされている。

【0 0 0 4】

さらに、このようなガセット袋においては、収容物を収容した後の上端開口の開閉をよりスムーズ且つ確実に行えるように、防水性コートが施されたクラフト紙による袋の袋口近傍に、縦方向に延設する閉塞用の金属部材（アルミニウム）片を設けたもの（例えば、特許文献1参照）や、紙、ビニール等によって作成した袋本体の口部の一方または両方の縁部に沿って横方向に、更には側縁に沿って、針金またはリボン状の金属芯材を取り付けた封かん口金具を備えたもの（例えば、特許文献2参照）が開示されている。

【0 0 0 5】

【特許文献1】

特開 2 0 0 0 - 7 2 1 5 9 号公報

【特許文献2】

実開昭 49-12112 号公報

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

一方、ガセット袋は、これを構成するシート材料や当該ガセット袋の形態等を工夫することにより、その用途が拡大している。例えば粉末状の洗剤等を収容する袋容器として、上端開口を封止することにより収容物を封入した状態で製品化され、使用者は、上端の封止部分を切り取って上端開口を形成し、洗剤等を繰り返し取り出して使用できるようにしたガセット袋においては、封止部分を切り取った後に開口した上端開口を再び容易に閉塞できるようにする必要がある他、開口した上端開口から洗剤等を容易に取り出せるようにする必要がある。

【0007】

しかしながら、上記従来 of ガセット袋によれば、平坦に折り畳まれた状態から、側面折り込み部の折り込み部分を拡げて矩形形状の上端開口を形成し、しかる後に収容物を収容する紙又はプラスチック製の簡易な袋であることから、これらを例えば洗剤等を収容して製品化するための袋容器として使用する場合には、種々の問題を生じることになる。すなわち、特許文献 1 に記載のガセット袋は、例えばゴミや嘔吐物を収容するために自動車内に備え付けられるクラフト紙による小型の紙袋であり、閉塞用の金属部材（アルミニウム）片は、単に袋口を閉塞するためのものであって、ガセット袋を自立させた状態で収容物を取り出し易くするものではない。また、特許文献 2 に記載のガセット袋によれば、紙、ビニール等によって作成され、袋本体の口部に取り付けた封かん口金具を介して、品物を入れて口部を閉じた後に、当該封かん口金具を折り曲げるだけの作業によって、封かん紙等を貼りつけることなく口部を閉塞するものであって、ガセット袋を自立させた状態で収容物を取り出し易くするものではない。

【0008】

本発明は、収容物を封入した状態で製品化され、上端の封止部分を切り取って取出し口を形成し、収容物を繰り返し取り出して使用できるようにしたガセット袋において、自立させながら取出し口を開かせた状態を容易に保持可能とすることにより、収容物を効率良く取り出すことができると共に、取出し口部を容易且

つ確実に閉塞して収容物を効果的に保存しつつ、当該収容物を繰り返し取り出すことのできるガセット袋を提供することを目的とする。

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

本発明は、前後一对の正面部と、これらの正面部の内側にV字状に折り込み可能な左右一对の側面折り込み部とを備え、自立させた状態で上端取出し口を開口しつつ収容物を取り出せるようにしたガセット袋であって、前記正面部と前記側面折り込み部とが接続する4箇所の立辺に沿って、塑性変形可能な縦方向線状部材が取出し口部から胴部にかけて各々取り付けられているガセット袋を提供することにより、上記目的を達成したものである。

【0 0 1 0】

ここで、ガセット袋の取出し口部は、当該ガセット袋を閉塞するためにこれの上端部分を折り返す際の、折り返し部及びこれよりも上方に位置する部分であり、ガセット袋の胴部は、この折り返し部よりも下方に位置して、収容物を収容する本体部分を構成する部分である。

【0 0 1 1】

また、塑性変形可能な縦方向線状部材は、例えば金属製の針金や、板、細幅状板、メッシュ、リボン、或いは形状記憶合金、形状記憶樹脂等からなり、手の指の力で容易に折り曲げて変形させることができると共に、折り曲げ後の形状を容易に保持できる程度の塑性変形性を備える線状部材であり、且つ取出し口部を折り返してガセット袋を閉塞した際に、取出し口部のシート材料の折り返し復元力に抵抗して、取出し口部の折り返し状態を安定して保持できる程度の塑性変形時の保形剛性を有するものである。また線状部材には、針金等の線形部材の他、ある程度の幅をもった例えば細長い帯板状の部材も含まれる。さらに、線状部材は、一本の線状部材として連続しているものの他、断続的に連続しているものも含まれる。

【0 0 1 2】

【発明の実施の形態】

図1に示す本発明の好ましい第1実施形態に係るガセット袋10は、収容物と

して例えば粉末状の洗剤を収容する容器として用いられ、図 2 (a), (b) に示すように、上端取出し口 11 を封止して製品化されている状態から、使用者がこの封止部分を切り取り線 20 に沿って切り取って上端取出し口 11 を開口形成し、当該上端取出し口 11 から洗剤 16 を繰り返し取り出して使用できるようにすると共に、洗剤 16 を必要量取り出したら、その都度、取出し口部 13 をスムーズ且つ安定した状態で閉塞させて、収容された洗剤 16 を効果的に保存することを可能にするものである。

【0013】

そして、本第 1 実施形態のガセット袋 10 は、前後一对の正面部 14 と、これらの正面部 14 の内側に V 字状に折り込み可能な左右一对の側面折り込み部 15 とを備え、自立させた状態で上端取出し口 11 を開口しつつ収容された洗剤 16 を取り出せるようにした洗剤用の袋容器であって、正面部 14 と側面折り込み部 15 とが接続する 4 箇所の立辺 17 に沿って、塑性変形可能な縦方向線状部材 18 が取出し口部 13 から胴部 14 にかけて各々取り付けられている。

【0014】

本第 1 実施形態によれば、ガセット袋 10 は、予め設計された所定の形状に切断加工された 1 枚又は複数枚のシート材料 22 に、公知の各種の折り曲げ加工や接合加工を施すことにより、矩形形状を有する底部 19 と、底部 19 の各辺部から立設する前後一对の正面部 14 及び左右一对の側面折り込み部 15 によって周囲を囲まれて、洗剤を収容する袋容器の本体部分を構成する胴部 12 と、この胴部 12 の上方部分に一体として連続配置され、当該ガセット袋 10 を閉塞する際に折り返される部分である取出し口部 13 とからなるガセット袋容器として形成される。またガセット袋 10 は、上端取出し口 11 から収容物である粉末状の洗剤 16 を予め設計された所定量投入した後に（図 2 (b) 参照）、左右一对の側面折り込み部 15 を V 字状に内側に折り込むようにしながら上端取出し口 11 を例えばシール接合して封止することにより、投入された洗剤 16 を内部に封入すると共に（図 2 (a) 参照）、洗剤 16 の未収容部分である取出し口部 13 を例えば 2 重に折り返した状態で、製品化されている（図 1 参照）。

【0015】

また、本第 1 実施形態によれば、ガセット袋 1 0 を構成するシート材料 2 2 として、アルミ箔層を含む多層シートが用いられており、好ましくは、図 3 に示すように、例えば最外層である第 1 層がポリエステル、第 2 層がポリエチレン、第 3 層がアルミ箔、第 4 層がポリエチレン、最内層である第 5 層がシーラント層からなる 5 層構造の多層シートを用いることができる。また多層シートにおけるアルミ箔層の厚さは、 $5 \sim 50 \mu\text{m}$ とすることが好ましく、 $5 \sim 20 \mu\text{m}$ とすることがさらに好ましい。シート材料 2 2 としてアルミ箔層を含む多層シートを用いることにより、再封（リシール）する際の折り曲げ作業を容易にすることができ、さらに、袋にしわ等が発生し難くなってガセット袋 1 0 の外観を良好に保持することが可能になる。

【0 0 1 6】

さらに、前後一对の正面部 1 4 と左右一对の側面折り込み部 1 5 は、胴部 1 2 及び取出し口部 1 3 の 4 箇所の各立辺 1 7 において、シート材料 2 2 の最内層のシーラント層を隅部 1 7 に沿って例えば $2 \sim 30 \text{ mm}$ 程度のヘムシール幅で折返し接合することによる折返しシール部であるヘムシール 2 3 を介して、矩形断面を有する中空筒状に接合一体化されている。またこれによって、ガセット袋 1 0 の上端の取出し口 1 1 は、これを開封した際に、底部 1 9 と略同様の大きさの矩形形状を有することになる。なお、前後一对の正面部 1 4 と左右一对の側面折り込み部 1 5 とが 4 箇所の立辺 1 7 において各々ヘムシール 2 3 によって接合されていることにより、ガセット袋 1 0 の形状保持性及び取出し口 1 1 の開口保持性を十分に発揮することが可能になる。

【0 0 1 7】

さらにまた、本第 1 実施形態によれば、正面部 1 4 と側面折り込み部 1 5 とが接続する 4 箇所の立辺 1 7 に沿って、塑性変形可能な縦方向線状部材 1 8 が各々取り付けられている。塑性変形可能な縦方向線状部材 1 8 は、例えば $0.1 \sim 5.0 \text{ mm}$ 、好ましくは $0.3 \sim 1.0 \text{ mm}$ の太さの金属製の針金からなり、例えば接着テープ等によって覆われるようにして側面シート 1 5 の外側面に貼り付けられ、4 箇所の立辺 1 7 のヘムシール 2 3 に近接する位置において、当該ヘムシール 2 3 に沿って取出し口部 1 3 から胴部 1 2 に跨る長さで取り付けられている

。

【 0 0 1 8 】

そして、本第 1 実施形態のガセット袋 1 0 は、上述のように粉末状の洗剤 1 6 を封入した状態で製品化され、使用者は、上端の封止部分を切り取って上端取出し口 1 1 を開口形成し、洗剤 1 6 を繰り返し取り出して使用することになるが、本第 1 実施形態のガセット袋 1 0 によれば、自立させながら上端取出し口 1 1 を開かせた状態を容易に保持可能とすることにより、洗剤 1 6 を効率良く取り出すことができると共に、取出し口部 1 3 を容易且つ確実に閉塞して洗剤 1 6 を効果的に保存しつつ、当該洗剤を繰り返し取り出してゆくことができる。

【 0 0 1 9 】

すなわち、本第 1 実施形態によれば、ガセット袋 1 0 には、正面部 1 4 と側面折り込み部 1 5 とが接続する 4 箇所（図 1 参照）の立辺 1 7 に沿って、塑性変形可能な縦方向線状部材 1 8 が取出し口部 1 3 から胴部 1 2 にかけて各々取り付けられているので、上端取出し口 1 1 を開封して矩形形状に開放した際に、4 箇所（図 1 参照）の立辺 1 7 において立設する縦方向線状部材 1 8 が 4 隅における柱としての機能を果たして、上端取出し口 1 1 を矩形形状に広く開放した状態に容易に保持することが可能になり、これによって、自立させた状態においても、収容物である洗剤 1 6 を容易且つ効率良く取り出すことが可能になる。

【 0 0 2 0 】

また、4 箇所（図 1 参照）の立辺 1 7 に沿って配置された縦方向線状部材 1 8 は、手の指の力で容易に折り曲げて変形させることができると共に、折り曲げ後の形状を容易に保持できる程度の塑性変形性を備えており、且つ取出し口部 1 3 を折り返してガセット袋 1 0 を閉塞した際に、取出し口部 1 3 のシート材料 2 2 による折り返し復元力に効果的に抵抗して、取出し口部 1 3 の折り返し状態を安定して保持できる程度の塑性変形時の保形剛性を有しているので、側面折り込み部 1 5 を内側に折り込みつつ上端取出し口 1 1 における一対の正面部 1 4 の上端を重ね合わせて当該上端取出し口 1 1 を閉じながら、縦方向線状部材 1 8 と共に取出し口部 1 3 のシート材料 2 2 を折り返し部 2 4 に沿って下方に折り返すだけの簡単な操作によって、ガセット袋 1 0 の取出し口部 1 3 を容易且つ確実に閉塞することが可能

になる。

【0021】

なお、取出し口部 13 を折り返すことによるガセット袋 10 の閉塞は、図 4 に示すように、折り返し部 24 に沿った一回の折り返しによって行うことも可能であるが、複数の折り返し部 24 に沿って二回以上折り返すことにより（図 1 参照）、さらに確実なガセット袋 10 の閉塞を行うことが可能になる。また、正面部 14 の表面に例えば折り返し案内線を予め描いておくことにより、当該折り返し案内線に沿って取出し口部 13 を折り返させるようにすることもでき、さらに、収容した洗剤 16 の減少に伴って折り返し部 24 を適宜下方にずらしつつ、取出し口部 13 を折り返すようにすることもできる。

【0022】

そして、収容した洗剤 16 を再び使用する際には、折り曲げられた縦方向線状部材 18 を直線状に復元するように塑性変形させつつ、上端取出し口 11 を開口させると共に、このような縦方向線状部材 18 を芯材とする上端取出し口 11 の開放及び取出し口部 13 の閉塞を繰り返しつつ、洗剤 16 が使用されることになる。

【0023】

図 5 は、本発明の好ましい第 2 実施形態に係るガセット袋 30 を示すものであり、本第 2 実施形態のガセット袋 30 によれば、上記第 1 実施形態の構成要件に加えて、各側面折り込み部 15 の外側面においてヘムシール 23 に沿って各一対取り付けられた縦方向線状部材 18 は、その上端部において各側面折り込み部 15 に沿って横方向に取り付けられた塑性変形可能な横方向線状部材 31 を介して連結されて、この横方向線状部材 31 と共にコの字形状を形成している。

【0024】

そして、本第 2 実施形態のガセット袋 30 によれば、上記第 1 実施形態のガセット袋 30 と同様の作用効果を奏すると共に、縦方向線状部材 18 の上端部を連結して横方向線状部材 31 が各側面折り込み部 15 を横断するように設けられているので、上端取出し口 11 を開口する際に、横方向線状部材 31 を直線状に復元して支持させることにより、内側に折り込まれていた側面折り込み部 15 を延

ばした状態として、矩形形状に拡がった上端取出し口 11 を容易に保持することが可能になり、これによって、収容した洗剤 16 の取り出しをさらに容易且つ効率良く行うことが可能になる。

【0025】

図 6 は、本発明の好ましい第 3 実施形態に係るガセット袋 40 を示すものであり、本第 3 実施形態のガセット袋 40 によれば、上記第 1 実施形態の構成要件に加えて、各側面折り込み部 15 の外側面においてヘムシール 23 に沿って各一对取り付けられた縦方向線状部材 41 は、ガセット袋 40 の胴部 12 の底部分まで延設して設けられている。

【0026】

そして、本第 3 実施形態のガセット袋 30 によれば、上記第 1 実施形態のガセット袋 30 と同様の作用効果を奏すると共に、縦方向線状部材 41 の下方部分が洗剤 16 の収容された部分における胴部 12 に配置されることになり、当該下方部分が洗剤 16 からの側圧によって支持されることになり、取出し口 11 を開口する際の柱としての機能をさらに効果的に発揮することになる。また収容した洗剤 16 の減少に伴って、折り返しライン 24 をより広範囲に亘って下方にずらしつつ、取出し口部 13 を折り返して閉塞した状態とすることが可能になる。

【0027】

なお、本発明は、上記各実施形態に限定されることなく種々の変更が可能である。例えば、当該袋を構成するシート材料は、アルミ箔層を含む上記構成の多層シートである必要は必ずしもなく、アルミ箔層を含まないシート材料や単層のシート材料であっても良い。また、収容される収容物は、粉末状の洗剤である必要は必ずしもなく、シャンプーやリンス等の液体収容物や、菓子等の固体収容物等、その他の各種の収容物を収容する袋容器として使用することもできる。

【0028】

また、図 7 に示すように、縦方向線状部材 50 と共に、上端取出し口 51 の矩形の開口形状と略同様の矩形形状を有する塑性変形可能な環状の線状部材 52 を取り付けることにより、さらに安定した状態で取出し口 51 を開口させることができる。さらに、正面部と略同様の矩形形状を有するシート材料の両側縁部に縦

方向線状部材を設けたものを、各正面部の内側面に沿って袋の内部に挿入配置することにより、縦方向線状部材を 4 箇所の隅部に沿って配設することもできる。

【0029】

さらにまた、4 箇所の立辺にヘムシールが形成されている場合において、縦方向線状部材をヘムシールの接合内部に配置することにより、縦方向線状部材を 4 箇所の立辺に沿って配設することもでき、このように縦方向線状部材をヘムシールの接合内部に配置することにより、縦方向線状部材やこれの取付部材が外観に現れなくなって、店頭に並べる場合や使用時にガセット袋をきれいに見せることが可能になる。また、縦方向線状部材や横方向線状部材は、タックシールや接着剤等で貼り付けたり、溶着して配設することもできる。

【0030】

【発明の効果】

本発明によれば、収容物を封入した状態で製品化され、上端の封止部分を切り取って取出し口を形成し、収容物を繰り返し取り出して使用できるようにしたガセット袋において、自立させながら取出し口を開かせた状態を容易に保持可能とすることにより、収容物を効率良く取り出すことができると共に、取出し口部を容易且つ確実に閉塞して収容物を効果的に保存しつつ、当該収容物を繰り返し取り出すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 実施形態に係るガセット袋を示す斜視図である。

【図 2】

(a) は本発明の第 1 実施形態に係るガセット袋に収容物を封入した状態を示す斜視図、(b) は同上端取出し口を開口する状態を示す斜視図である。

【図 3】

ガセット袋を構成するシート材料の層構成を説明する断面図である。

【図 4】

取出し口部を折り返してガセット袋を閉塞する状態を示す斜視図である。

【図 5】

本発明の第 2 実施形態に係るガセット袋の上端取出し口を開口する状態を示す斜視図である。

【図 6】

本発明の第 3 実施形態に係るガセット袋の上端取出し口を開口する状態を示す斜視図である。

【図 7】

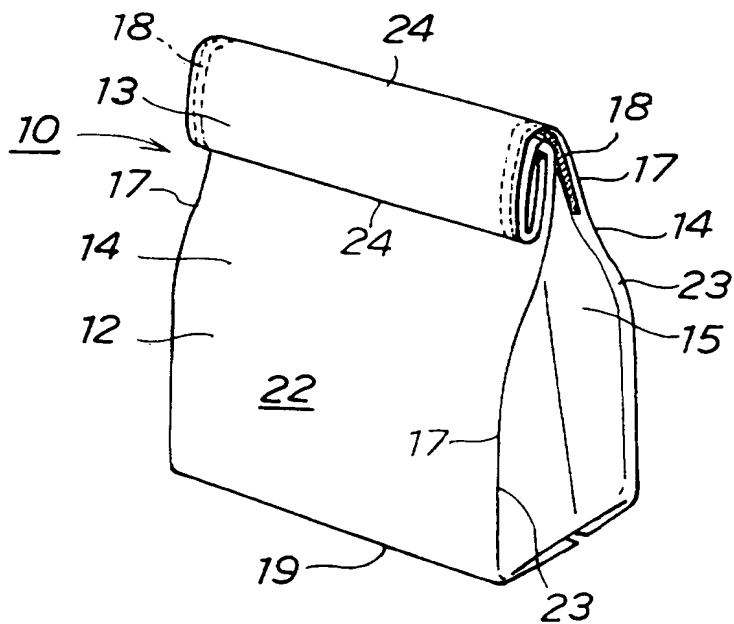
本発明のさらに他の実施態様を例示する部分略示斜視図である。

【符号の説明】

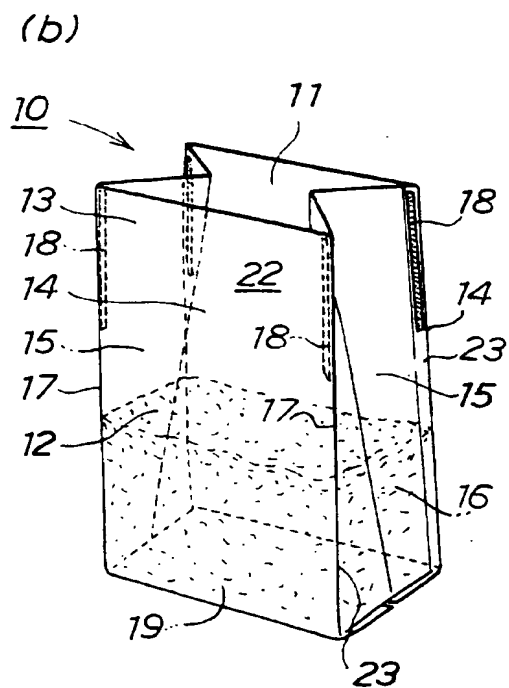
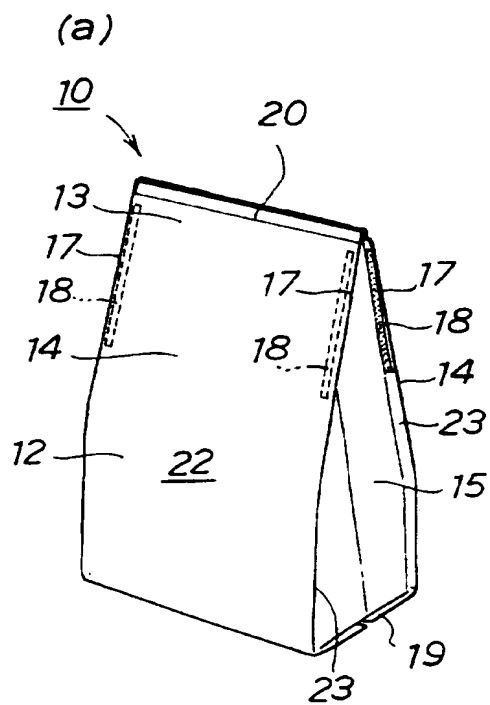
- 1 0, 3 0, 4 0 ガセット袋
- 1 1 上端取出し口
- 1 2 胴部
- 1 3 取出し口部
- 1 4 正面部
- 1 5 側面折り込み部
- 1 6 洗剤（収容物）
- 1 7 立辺
- 1 8, 4 1 縦方向線状部材
- 1 9 底部
- 2 0 切り取り線
- 2 2 シート材料
- 2 3 ヘムシール
- 2 4 折り返しライン
- 3 1 横方向線状部材

【書類名】 図面

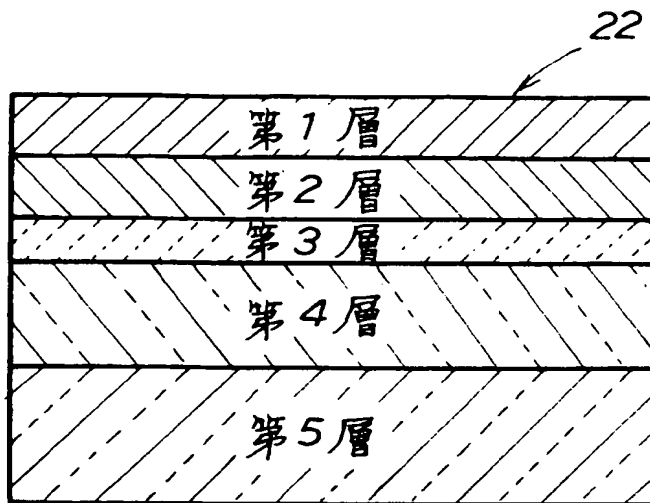
【図 1】



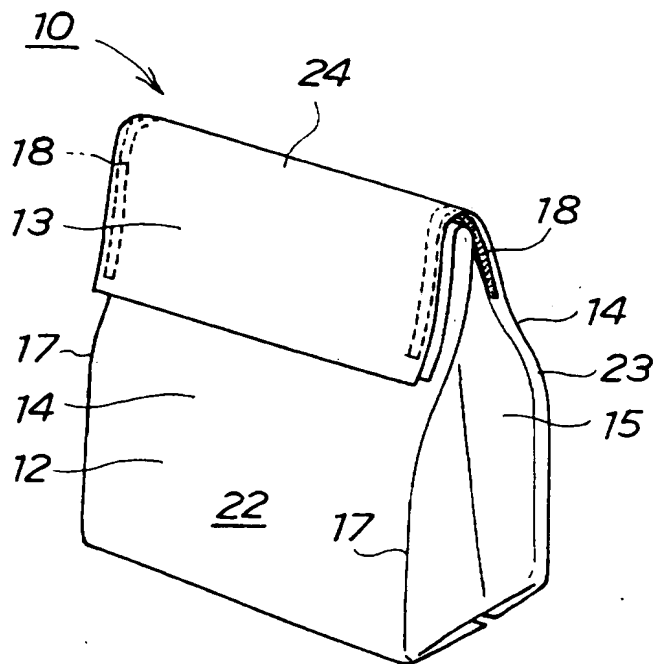
【図 2】



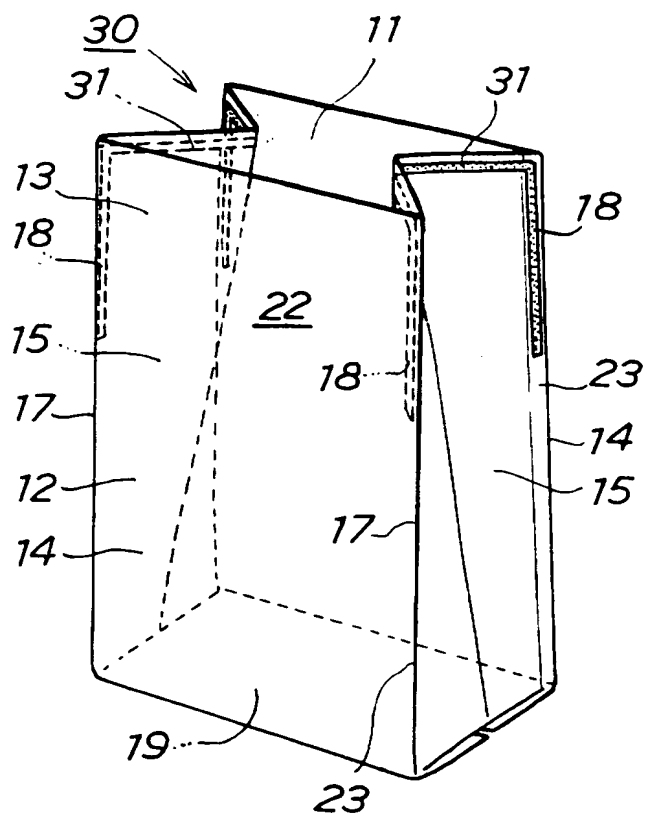
【図 3】



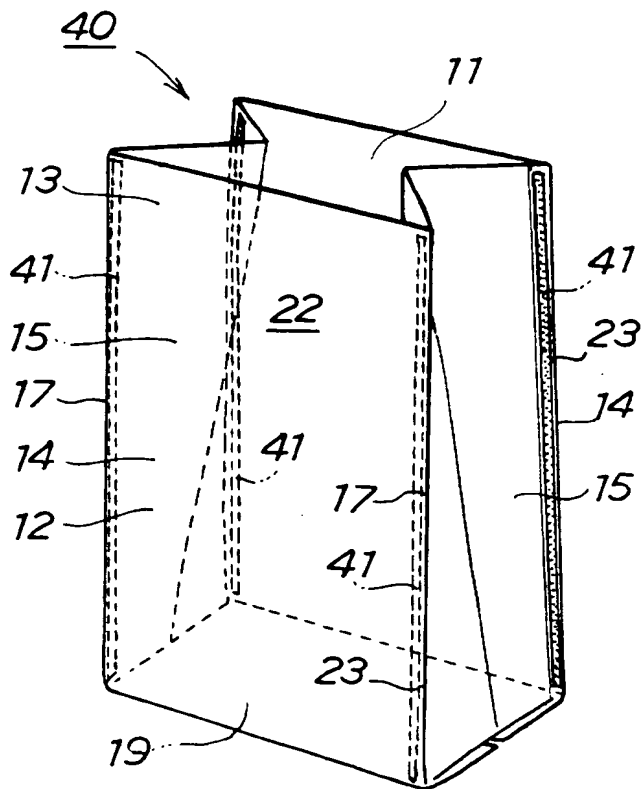
【図 4】



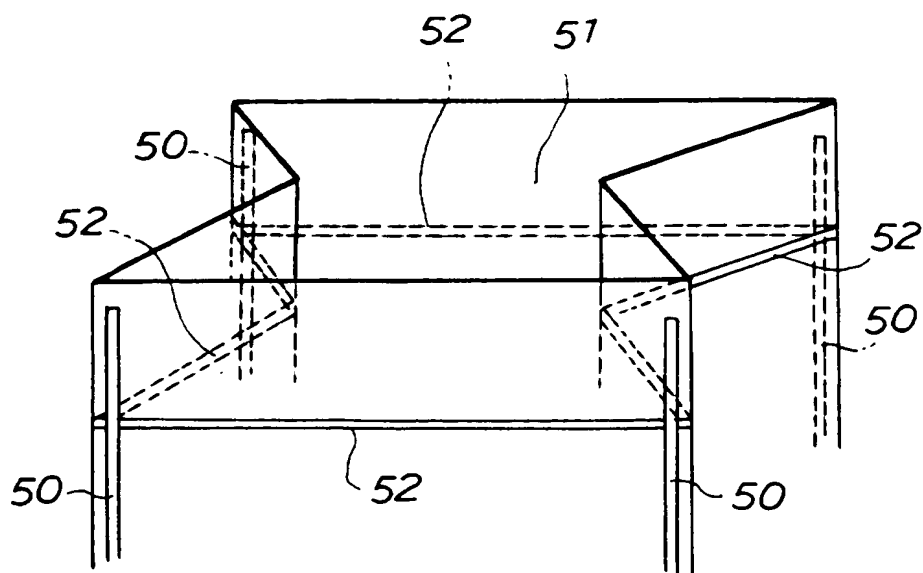
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 自立させた状態で収容した収容物を容易に取り出すことができると共に、取出し口部を容易且つ確実に閉塞して収容物を保存しつつ、当該収容物を繰り返し取り出すことのできるガセット袋を提供する。

【解決手段】 前後一对の正面部 1 4 と、これらの正面部 1 4 の内側に折り込み可能な左右一对の側面折り込み部 1 5 とを備え、自立させた状態で上端取出し口 1 1 を開口しつつ収容された粉末状の洗剤 1 6 を取り出せるようにしたガセット袋 1 0 であって、正面部 1 4 と側面折り込み部 1 5 とが接合する 4 箇所の立辺 1 7 に沿って、塑性変形可能な縦方向線状部材 1 8 が取出し口部 1 3 から胴部 1 2 にかけて各々取り付けられている。またガセット袋 1 0 を構成するシート材料 2 は、アルミ箔層を含む多層シートからなる。

【選択図】 図 2

特願 2 0 0 3 - 1 1 4 9 1 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 0 9 1 8]

1. 変更年月日 1 9 9 0 年 8 月 2 4 日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都中央区日本橋茅場町 1 丁目 1 4 番 1 0 号

氏 名 花王株式会社